

豊田東豊商店街活性化計画 【計画期間 令和5年度 ～ 令和8年度】

1 現状と課題の分析

①地域概況	豊田市中心部より東に2.8kmほど東の地域で国道301号線、内環状線、外環状線が東西南北に走る主要幹線道路に囲まれた通過交通の多い地域。周囲を住宅地域に囲まれ、人口密度が高く、こども園5園、小学校3校、中学校1校を有している。			
②最寄り駅	名鉄豊田市駅	③最寄り駅からの距離	2.8km	
④商店街区域	美里地区の約2キロ四方にわたる			
⑤商店街区域内の商店数	200店舗			
⑥うち組合加入店舗数	18店舗	⑦うち空き店舗数	0店舗	
⑧商店街の加入店舗構成	金融（4店 22%）、サービス（4店 22%）、家電（2店 11%）			
	飲食店（1店 6%）、車輛販売（3店 17%）、小売り（2店 11%）、その他（2店 11%）			
⑨商店街の特徴、強み	14の自治体に囲まれ住宅地に隣接し人口密度が高く、主要幹線道路が東西南北に走っており通行量は非常に多い。			
⑩来街者 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 高齢者		主婦	ファミリー
	<input type="radio"/> 若者		観光客	その他()
⑪来街者交通手段 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 徒歩		自転車	バス
	<input type="radio"/> 自家用車		鉄道	その他()
⑫来街者の来街に要する時間 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 15分未満		15分以上30分未満	30分以上1時間未満
	<input type="radio"/> 1時間以上			
⑬商店街等が抱える課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄り駅から離れており、地域の公共交通機関については路線バスのみであるため、住民のほとんどは自動車での移動が多い。そのため、恵まれた道路事情（幹線道路、IC）により、買い物は地域外の大型スーパーやショッピングモール等への流出が否めないのが現状である。また、地域住民の高齢化も大きな問題である。 ・現存の貸店舗の多くが築40年以上になり、駐車場やマンションへの建て替えが進んでいる。 			
⑭地域住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日 11% ・週に2～3回 14% ・週に1～2回 26% ・月に数回 36% ・数回利用したことがある 13% 			

2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	地域内の大型店、量販店とも協力した地域密着型の商店街を目指す。
②基本目標 (4年後の達成目標数値)	最盛期には90店ほどが商店街に加盟していたが、今はその2割ほどの組合員で活動を続けており、将来的には最盛期の5割ほどまで組合員を増やしたい。

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	きれいきれい商店街				
	事業区分	新規・ 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	平成22年度	
②実施予定時期	令和 5年 4月 ~ 令和 9年 3月				
③具体的内容	クリーン活動 年2回、商店街の法被を着て、青桐通りなどを中心に、空き缶拾い、ごみ拾いを行う。				
④必要性・目的	幹線道路にあるファストフード店、コンビニ等のゴミや空き缶、吸い殻等が目立つため、商店街が率先して地域の美化に取り組み、商店街のイメージアップを図る。				
⑤ターゲット・コンセプト	地域住民及び外来者				
⑥事業費・採算性の説明	ひばさみ等の備品は既存のものを使用するため費用は掛らない。				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	改善点として、全組合員が一斉に活動することが目標なので実施する時期を検討する必要がある。				
⑧事業効果	商店街の美観を高め、魅力ある商店街にすることで商店街の認知度を上げ、新規組合員の加入を狙う。				
⑨目標 評価指標 測定手法	商店街加盟店数の50%増				
⑩推進体制	理事及び組合員				
⑪関連計画や事業 (地域の動き等)					
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	5年度【1年目】	6年度【2年目】	7年度【3年目】	8年度【4年目】
	事業	クリーン活動	クリーン活動	クリーン活動	クリーン活動
	予算（千円）	0円	0円	0円	0円
	関連計画や事業	加盟店募集活動	加盟店募集活動	加盟店募集活動	加盟店募集活動
	市補助金の申請見込み	無	無	無	無
	目標達成状況	加盟店舗数の増加 3店舗	加盟店舗数の増加 3店舗	加盟店舗数の増加 3店舗	加盟店舗数の増加 3店舗

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	地域貢献事業				
	事業区分	新規・ 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	令和元年度	
②実施予定時期	令和 5年 4月 ~ 令和 9年 3月				
③具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ会議が主催する行事に協力参加する。 ・地域各団体ご実施するイベントに協力参加する。 例として、「タウンウォーク・スタンプラリー」への参加等 ・交流館運営委員会のメンバーとして会議に参加する。 				
④必要性・目的	地域コミュニティや各団体が開催する事業に参加することで商店街の認知度の向上と新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげるとともに組合員の増加を狙う。				
⑤ターゲット・コンセプト	各自治区、地域住民及び組合未加入の店舗				
⑥事業費・採算性の説明	チラシ1,000部を作成し、事前に商店街各店舗にて顧客に配布し、当日会場でも配布する。				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	改善点として、現組合員に事業の重要性を周知する必要がある。				
⑧事業効果	新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげるとともに組合員の増加を狙う。				
⑨目標 評価指標 測定手法	商店街加盟店数の50%増				
⑩推進体制	美里コミュニティ会議 地域団体				
⑪関連計画や事業 (地域の動き等)					
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	5年度【1年目】	6年度【2年目】	7年度【3年目】	8年度【4年目】
	事業	地域貢献事業	地域貢献事業	地域貢献事業	地域貢献事業
	予算（千円）	50	50	50	50
	関連計画や事業	加盟店募集活動	加盟店募集活動	加盟店募集活動	加盟店募集活動
	市補助金の申請見込み	無	無	無	無
	目標達成状況	加盟店舗数の増加 3店舗	加盟店舗数の増加 3店舗	加盟店舗数の増加 3店舗	加盟店舗数の増加 3店舗

4 区域内における不足等業種

① 当商店街（商工会）が掲げる不足等業種

- スーパーはあるが生鮮食料品を扱う個人店がない

- ドラッグストアはあるが薬局などの個人店がない

- 家電量販店はあるが個人の電器店がない

② 上記業種を不足等業種として掲げた理由（簡潔に）

- （生鮮食料品）
大型スーパーやチェーン店はあるが八百屋さん魚屋さん肉屋さんなどの店がなくなってしまった。
- （薬局）
ドラッグストアはあるが薬局などの個人店がない。
- （電器店）
家電量販店はあるが電器店がない。かつては5軒あったが2軒は商店街を脱退し2軒は廃業し1軒は電気設備店になった。

③ その他参考情報等